

(事業計画書様式 1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	茅ヶ崎公園自然生態園
所在地	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
公園面積、公園種別	94,828 m ² (うち指定管理区域: 約 30,000 m ²)、地区公園
主な施設	里山林、緩衝林、草地、谷戸田、池、谷戸の水場・水路
特徴	<ul style="list-style-type: none">・地域に住む人たちが水と緑の豊かなふるさとの自然景観に親しみ、自然の尊さを学ぶことができる環境である。・横浜の内陸部において生きものの宝庫といわれる谷戸の源流部の生態系が残されている。
公園開園日	1995(H7)年3月24日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会
代表者名	岸 重行
所在地	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
指定管理期間	2022(R4)年4月1日~2027(R9)年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	2008(H20)年4月1日

(事業報告書様式 2)

1 文化自然体験施設の管理運営体制（事業計画書様式 2）の報告

□多様性に富む里山の生物相と自然環境の保全

港北ニュータウンの開発が始まる以前の、横浜の里山で見られた豊かな生物相およびそれを育む自然環境の維持管理のため、様々な領域における再生可能性が低下させないことを念頭に、調査と保全作業を行った。具体的には気候変化、外来生物侵入等が及ぼす影響をふまえ、自然や生物相の変化を把握しながら、場所、区域ごとの植物調査を基に、保全作業を計画し、日照改善による植生維持・再生を主目的に実施した。

□地域の方々に親しまれ、地域と共に発展していく施設

地域の方々に親しんで頂く一環として、近隣の小学校の遠足、郊外授業、課外活動の受け入れを積極的に行い、地域の子供たちと交流を深めた。

近隣保育園や近隣の公共施設で活動する市民団体、自治会等に餅つきの道具や、先方の行事等で必要な機材をできるだけ、貸出し、提供することによって、地域とのつながりを深めた。

2 運営業務の実施計画・取組の報告

□自然の再生

- ・過去の調査資料や、スタッフによる日々の植物観察を基に、気候変化、外来生物侵入等が及ぼ

す影響をふまえ、自然や生物相の変化を把握しながら、保全作業を計画し、日照改善による植生維持・再生を主目的に実施した。作業に当たっては、手作業主体に鎌と鋸等を使用した。事前に保護樹木・野草に目印をつけ、作業時に保護を図った。又、活動後も植物相を主体に植生を経過観察し、今後の保全活動の参考データとした。

一方、ナラ枯れや樹齢の高い木々の枯死や、人手不足等による作業放置エリアの拡大は危険回避と植生保全の観点においても課題である。危険木については横浜市と現地確認を含め協議を行い、冬季に伐採していただいた。一部は地元の業者に委託し、伐採を進めた。

・保全作業は、熱中症の恐れの有る夏季の実施回数を減らす代わりに、冬季に実施回数を増やすなどの工夫をし、ボランティアの方々と共に月平均4回程度、草、ササ、低木刈り、竹の間伐等を実施した。成果としてキンラン、ヤマユリ、ノコンギクが増え、生育改善、景観改善等を参加者の方々と共に喜ぶことができた。

・希少植物等の保護・育成のため保護植物の周辺を囲い、周辺の草刈り、ササ刈等はスタッフが適宜実施した。結果キジムシロ等保護植物の生育改善が確認できた。

・落葉や刈草は園内に数か所整備した集積場所に集積、堆肥化し、有効に活用した。又、外来種駆除作業により捕獲したザリガニも堆肥にし、有効活用をした。

・別事業として、横浜市委託による水辺保全を継続し、施設の保全再生を充実させた。

□自然環境教育事業

・催し等を通して、子どもや地域の方々が自然の心地よさや生きものの面白さにふれ、学ぶ体験ができるよう種々工夫をし、実施した。特に地元の小学校3校及び保育園1園に対しては、遠足、校外活動、課外活動を受入れ、都度園の魅力に触れてもらう機会を確保した。

・昆虫、両生は虫類、植物等の観察会を12回行った。

・自生植物の観察会を7回、水辺の観察会を1回行った。

・草木等を活用し、その恵みを体感できる体験型催しとして、草だんごづくり、リースづくり等を7回行った。

・外来種のアメリカザリガニを引き取る催しを24回開催した。

□米作り

・化学肥料や農薬を使用しない、生態系に配慮した米作り体験を7回行う計画であったが、参加者に必ず参加して頂きたかった田植えや稲刈りは複数の予備日を設け、できる限り全員参加を図ったため、実施回数は延べ23回となった。

・堆肥や池の泥を適宜投入し、施設内植物等の有機的な循環の一助とした。但し、次年度へ向けての堆肥入れの際に、堆肥置き場にて毎年見られるカブトムシの幼虫の姿が減っていることが懸念事項。

□適切な施設管理

・ゾーンごとの管理目標をもとに樹木を伐採、草刈りを行い、木材や刈草はホダ木や堆肥、工作体験等に活用した。地域の方々にも、薪や年中行事、工作物等利用のため提供した。

・竹林の整備を行い、副産物として採れたタケノコや竹材を地域の方々に提供した。当園内で採取したタケノコはえぐみが少ないとの評判を頂いている。

- ・こまめなトイレ清掃と園路・施設点検を行い、必要に応じて設備修繕を行った。トイレは水洗の調子が悪くなることが多く、横浜市には適宜報告を行った。

□身近な自然の普及啓発と地域の里山文化の伝承

- ・生物・自然の様子や魅力を掲示、SNS 等様々な形で発信した。又昆虫及び植物等についてのページを、次年度にホームページ上でリニューアルすべく、スタッフ内で話し合いを行った。
- ・地域でかつて行われていた里山管理、米作り、溜池の管理方法等の記録を保管し、折にふれて催し参加者に伝える活動を実施した。その一環として、「昔の道」をテーマにすっぽと観察会を実施し、明治期～ニュータウン開発が始まる直前の園付近の様子や痕跡を参加者とたどった。
- ・コロナ禍の影響も落ち着いてきたため、保全作業に参加された方を中心に、サポーター間の親睦を深め、今後のより良い生態園運営につなげていく事を目的とし、年度末にサポーターデイを実施した。
- ・サポーター会員：131人

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

1 維持管理

来園者が気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる施設をめざし、維持管理を実施。「維持管理水準書」及び「マニュアル」を基に点検を行った。

2 施設（建物等）・設備の維持管理

- 日常点検：詰所・正門、トイレ周辺の異状を点検し、適宜清掃を行った。
- 定期点検：施設設備の破損や劣化、また自然の枯木枯枝有無等の点検を実施した。（6月、9月）
- 施設特有の不具合：枯木枯枝有無の点検、水辺斜面の崩落、園路面の陥没、根の張り出し、ハチや毒毛虫の発生状況に注意し日常点検、定期点検を行った。隨時、園路草刈り、落枝除去、園路に張り出す枝類除去等整備を行った。本年度、毒毛虫のイラガ、ハチの巣は観察されなかった。
- 樹木・植栽等の管理：「維持管理水準書」及び年間計画及び植物調査の様子を基に草・ササ刈り、低木・竹伐採、希少植物保護を行った。自然再生、安全管理、景観維持の観点をふまえた。内容は「管理運営体制（事業計画書様式2）・自然の再生」のとおり。

（事業報告書様式3）

令和6年度文化・自然体験施設利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	576	513	514	257	239	355
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	357	409	303	332	439	496
						4790

*入園者概数及び催し等参加者の合計

(事業報告書様式 4)

令和 6 年度修繕実績（※指定管理者が実施したもののみ記入）

修繕年月日	修繕箇所	金額（単位:円）	委託業者名、直営か
4/10,11,17,25,26,5/2,5/17	ハチの巣の展示ケース新調	0	スタッフ
4/5	堆肥置き場補修	0	"
6/7, 12	行事用掲示看板新調	0	"
5/24, 31,	ザリガニ水槽上蓋固定金具取付け	0	"
6/23	正門前水溜り解消対策	0	"
7/17	橋桁補強	0	" 材料は横浜市在庫譲渡
7/7	アンケートテーブル再塗装	0	"
7/3,10/3,9,23,25	正門前デッキ長椅子修理交換	49,005	"
10/2,11/8	トンボ池柵補修	0	"
12/4,13,25	倉庫の雨避け用天板補修	0	"
12/27,2025.1/10,31	正門通路脇水路斜面補強	0	"
2025.1/8,15,22,24,29	広場のバケツ棚の補強修理	1,069	"
2025.1/11,19	カエル池泥上げ	0	"
2025.2/12	詰所入口鍵交換	39,215	委託業者
2025.3/26	ベンチ座面交換	7,224	スタッフ
隨時	鎌・鋸刃研ぎ	0	"
隨時	チッパー刃研ぎ	0	"
合計		96,513	

(事業報告書様式 5)

令和 6 年度増減備品一覧（※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入）

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
パソコン コンピューター	PC-N156DGAW	126,500	1	126,500 円			従来 P C 動作不良廃棄予定。
パソコン コンピューター	P2-T7XP-BG	166,595	1	166,595 円			従来 P C 動作不良廃棄予定。

(事業報告書様式 6)

苦情要望対応報告

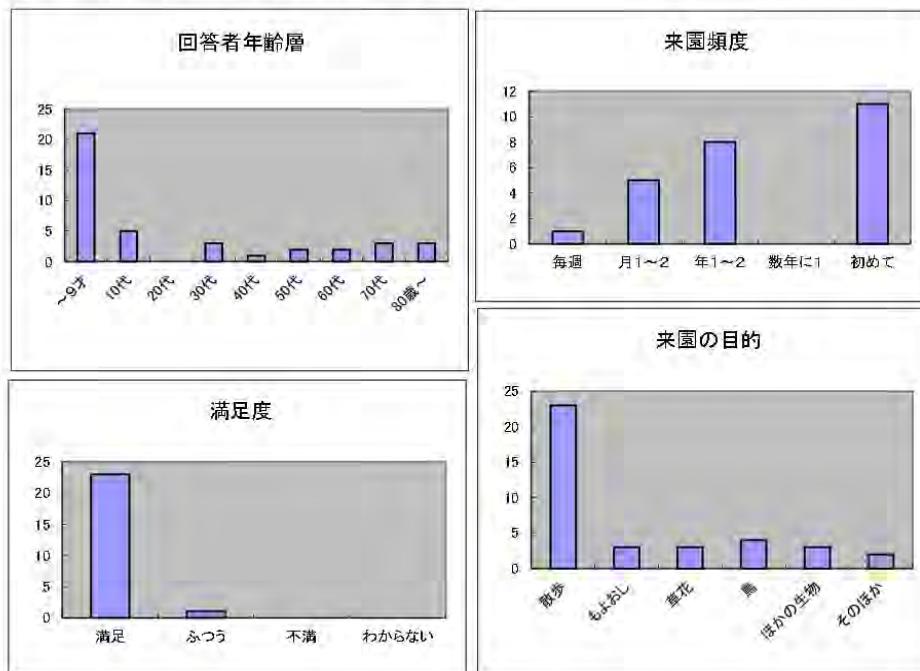
	年月日	内容	対応結果
1	24/4/28	美しい花たちがあるとよい。(アンケート意見より)	正門園路付近で開花した花が有ると、できるだけ植物名の名札をつけ、何の花かわかりやすいように工夫した。
2	24/7/21	山道が草で隠れ気味。(アンケート意見より)	猛暑期が一段落した9月後半から西山、東山の園路沿いを保全作業で草刈り、ササ刈りを行い、園路を歩きやすいようにした。
3	24/9/29	千草(イネ科植物)がすごく、先に行く気が出なかった。 (アンケート意見より)	同上

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	2024年 9月	スタッフが作業終了間際に鎌により指を怪我	労災保険対応。日常生活に支障なく一月程で全治した。
2	2024年 12月	スタッフがニュースレター配信時、BCCではなくTO配信をしたため、配信先のメールアドレスの漏洩となった。	ニュースレターの配信をグループメール方式に切り替え、送信宛先のアドレスが見えないようにする。

2024年度来園者アンケート

全回答数41



□よいところ・好きなところ

- ・自然がたくさんある(虫、魚、カワセミ、植物、生きもの) (15)
- ・静かで落ち着く (2)
- ・自然を感じられる(2)
- ・日本の生き物を大切にしている
- ・自然の中を歩き秋の風情を感じ最高だった。
- ・クイズがおもしろかった
- ・花や木に名札がありよくわかり良かった
- ・切るのがたのしかった(里山保全)
- ・区内にあり、端正している皆さんが多い
- ・田んぼがある (2)
- ・季節の草花、鳥の声を楽しめる
- ・自然があり昔ながらのものがある
- ・春に訪れたい。
- ・ピンゴ
- ・案内が多くて楽しい
- ・ザリマスができる

□気になるところ

- ・美しい花たちがあるとよい
- ・山道が草で隠れ気味
- ・事務所周りの整理整頓
- ・千草がすごく、先に行く気が出なかった

□ほか

- ・カモの親子が可愛い。トンボがいた。カワセミがきれい。米を植えたい
- ・こどもに自然のある場所を体験させたい。小さな子も入れ、好きに遊べる田んぼがほしい。お米を育てていない田んぼ。
- ・とても良い体験になった。クイズがよい。
- ・今夏は暑くて来園できず3ヶ月ぶり。アザミのトゲにやられそう。
- ・いかをてんじしてほしい
- ・ナガコガネグモの卵のうが興味深かった
- ・ボランティアさんのおかげですね。季節ごとにたのしみそう。魚、エビもどうでしょう。また友達ときます。
- ・ボランティアさんのおかげですね。季節ごとにたのしみそう。魚、エビもどうでしょう。また友達ときます。

(事業報告書様式 8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	2024年 4/3,5/2,8/4 9/29,10/20,'25/3/14	初任者研修	就業にあたっての心構え、基本的な遵守事項、事務手続きを説明した。新任 7名。
2	2024年 10/18	事故等緊急対応	催し・作業実施や開園日の事故発生時の緊急体制を再確認した。参加 5名
3	2024年 7/2	AED 講習	水難事故防止関連の安全講習会に参加したメンバーが同時に AED の取り扱い講習を履修。
4	2024年 9/7,8	チェーンソー安全講習会	チェーンソーの取り扱いに関する安全作業に重点をおいた取り扱い・作業方法の講習を履修。参加 2名。
5	2024年 10/3	植物調査	外部より専門家を招きスタッフと共に園内の植物調査、確認実施。参加 4名
6	2024年 12/3	人権研修	横浜市開催の講座にスタッフ 1名参加し、講義内容を他のスタッフに伝達。参加 5名
7	2025年 1/8	事故（メールアドレス漏洩）対応関連講習	12月ニュースレター送信時に発生した個人メールアドレス漏洩事故の発生状況と、漏洩を出さないための対応について、事務関連スタッフで情報共有した。参加者 5名

(事業報告書様式 9)

無料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
定例保全作業	スギナ抜き、草・ササ刈り、低木刈り、竹切り、伐採竹の処理、シイタケほどぎ作り、ほどぎ置場整備を実施。地域の方々（小学生～おとな）と共に楽しく安全第一に行った。近年は参加者の世代交代期。社協の協力を得てガールスカウト団はじめ新参加者の定着を図ることができた。	153	4/20,28,5/19,26, 6/15,23,7/20,9/21, 9/29,10/19,27,11/16 11/24,12/21 2025-1/18,26,2/9,15 2/23,3/15,23
草刈り	保護植物の知識を共有し、丁寧な草・ササ刈りを実施。ノコンギクの群落拡大やガマズミ、マユミ、ノイバラ、ウグイスカグラ等低木類の開花、結実が良好となった。参加者増が課題。	26	4/4,18,5/2/16,6/6,20 7/4,18,8/22,9/5,19 10/3,17,11/7,21, 12/5,2025-1/9,23 2/6,20,3/6,20

植物調査	定期的な正式調査は実施しなかったが、スタッフが適宜植物観察を継続し、次年度以降の植物調査再開を検討した。		
ネイチャークラフト	「森の風」(市民団体)による木の実等を使って行う自由工作。	35	6/15,10/19,11/16 12/21,2025-1/18, 2/15
教育機関学習活動への協力	近隣小学校の観察授業・遠足・総合学習。クラブ活動(ザリガニ釣り、焚火)。大学研究活動(ザリガニ活用研究、埋土種子研究)。地域の秋祭りの神輿に稻束提供、地域の複数の公共施設等に七夕用のササ提供。	-	随時
すぱっと観察会	スタッフが進行する観察会で、ザリガニ、エビや草花の観察などをおこなった。実施を楽しみにしているリピート参加の方も増え、生態園の自然に親しみを感じていただける機会となった。	74	4/6,21,6/1,9,7/21, 8/21,10/20,11/16 11/17,12/21 2025-12/1,3/30
ザリガニパンフレット	アメリカザリガニ啓発パンフレット。近隣小学校3校及び「めざせ!ザリガニマスター」新規参加者に配布した。(約200部)	-	5~10月の 開園日

(事業報告書様式9)

有料事業実施報告一覧(自主事業含む) ☆決算額を入れてください

事業名	事業内容・実施結果	参加数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費(円)	自主事業収入(円)
「昔ながらの米作り」	苗床作りから堆肥入れまで計23回実施。玄米95kgを収穫した。昨年度の参加者からの要望を受け、今年度は、育った苗ができる限り田んぼに植え、田を余らせることのないよう米づくりを行なった。昨年同様、畦の防水対策により常に田んぼに水が張った状態を維持できたが、水の循環には課題が残り、水温の上昇が見られた。イネの成長は例年と変わらなかったものの、精米後の米の品質はここ数年の中でも悪く、温暖化の	362	4/16,4/30 5/14,5/20 5/26,5/27 5/28,7/22 9/9,10/7 10/14,11/4 3/2	54,263	280,950

	<p>影響や稲刈り後の稲干しの調整などが今後の課題といえる。参加者数は昨年度と同等程度で、十分に米作りを満喫しながら参加者同士の交流を促すことができた。深い泥田での大変な作業ではあったが、各回親子ともに楽しみ、自然環境や食についても考える機会となった様子。また、コロナ禍により開催を見送っていた餅つきも参加者有志の方々により5年ぶりに開催することができ、大いに盛り上がった。</p> <p>次年度の参加人数は今年度と変わらない見込みであるが、新規の参加者の割合が増える見込みにより、作付け面積を減らす等、工夫して臨みたい。</p>				
自然体験「草だんご作り」	他のイベントとのスケジュール調整で3月開催としたが、ヨモギを摘んで、かまどで茹で、蒸し、広場ベンチにて親子でお団子を作りいただいた。早春の香りと味を楽しんでいただけた。	18	2025-3/30	9,763	15,200
自然体験「森とかよしキッズ in 生態園」	自然の中で、五感を使った自然遊びや探検などを行った。親子や参加者同士で、楽しみながら季節を感じるプログラムで、毎回楽しみ参加される常連の方もいらした。	40	11/23 2025-1/19 3/20	21,056	13,300
親子自然体験「たき火」	幼児親子で、山を散策し小枝や、焚き付けに使う杉の枯れ枝を拾い、焚き火にくべたり、焼き芋を焼いて食べる体験をし、楽しんで貰った。	16	2025-2/5	1,999	7,600
自然体験「リース作り」	園内を散策して木の実や蔓などの自然物を集め、リース作りを楽しんで貰った。いくつかの作品はしばらく、詰所前に展示し、来園者にも作品を楽しんで貰った。	10	11/17	6,255	3,400

水辺の観察「貝はかせになろう」	池に生息するドブガイを野外と室内で観察し、標本を作成した。参加者は熱心な人が多く真剣に貝の観察などを行っていた。	6	6/22	8,368	2,500
野の花ウォッチング	散策しながら、植物について構造や生態を丁寧に解説。講師の方が体調不良となり、2回のみの実施となった。代替としてすぱっと観察会として四季折々の植物の観察会をスタッフが講師となり、実施した。	18	4/21,5/4	12,888	2,800
生きもの観察「クモの観察」	雨天のため中止（講師の都合もあり代替開催できず。）。	0		910	0
生きもの観察「両生は虫類」	園内で捕獲したヘビや講師持参の生きものを観察。実際に手で触れ、感触を感じながらじっくりと観察をした。ヘビを触った感覚が、当初思っていたものとかなり違ったなどの感想がよせられる等貴重な機会となった。	36	5/3	11,978	8,300
生きもの観察「ハチ宿づくり」	今年初の試みとして実施。ハナバチのための巣を園内で採取したアシで作成した。又、ハナバチと肉食系のハチとの違いなど生態を学んだ。	12	10/13	13,628	9,900
生きもの観察「冬超しする生きもの」	寒い冬を昆虫や「ムシ」たちがどのように過ごしているかを観察した。寒い冬の中でも意外に多くの昆虫たちに出会えて、参加者は非常に楽しかった様子だった。	25	2025-2/1	10,903	4,900
おとの焚き火	山で枝を拾い集め、火を興すところから始め、たき火を行った。焼き芋を焼き、カマドで湯を沸かしてお茶を飲みながら参加者の皆さんと語り合った。火を見つめながら自然の中で過ごす時間を満喫していただいた。	5	2025-2/7	4,656	5,000

「めざせ！ザリガニマスター」	園外で捕獲したザリガニ計 1,503 匹を引取り、参加者にカードを進呈。田の施肥に活用した。	約 100	5/1～10/27	0	3,000
「ようこそ生態園へ」(植物冊子全4冊)	サポーターグループが作成。園内植物約 300 種を分かりやすく解説した冊子。開園日に展示、頒布した。	10	通年	0	9,000
合計				156,667	365,850

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
トイレ清掃	日常清掃	横浜市南区 (株)斎藤商会	119,350	217回	年間（月水土日曜日）
トイレ開錠・施錠	トイレ施設の開閉 朝9時、17時	個人	63,500	193回	年間(月火ほか)

事業報告書様式 11)

収支報告書（指定管理事業のみ）

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	10,984,446	0	10,984,446	10,984,446	0	
利用料金収入						
自主事業収入	282,600		282,600	356,850	-74,250	催し参加協力金&保険料
横浜市による運営支援		89,000	89,000	89,000		横浜市による賃金水準変動対応に伴う指定管理施設運営支援 89,000円
雑入	218,000		218,000	185,226	32,774	サポーター会費、寄付金
その他雑入				2,357	-2,357	利息
収入合計 (a)	11,485,046	89,000	11,574,046	11,617,879	-43,833	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	8,634,790	89,000	8,723,790	7,992,219	731,571	
給与・賃金	7,416,656	89,000	7,505,656	7,630,646	-124,990	
社会保険料	813,654		813,654	52,140	761,514	労働保険
通勤手当	260,480		260,480	274,868	-14,388	

福利厚生費	24,000		24,000	34,565	-10,565	慶弔・見舞い、お茶等
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000	0	60,000	
退職給付引当金繰入額	60,000		60,000	0	60,000	
事務費	885,875		885,875	836,158	49,717	
旅費	44,500		44,500	11,619	32,881	市内交通費、駐車場代、ガソリン代
消耗品費	40,000		40,000	90,874	-50,874	
会議賄い費	20,000		20,000	10,132	9,868	お茶類
印刷製本費	28,000		28,000	48,560	-20,560	紙、インク、版下、印刷代等(チラシ、たより、三つ折りパンフレット)
通信運搬費	200,900		200,900	107,383	93,517	電話・ネット使用料、切手、運送料
使用料及び賃借料	50,860		50,860	65,708	-14,848	
(横浜市への支払い分)	2,860		2,860		2,860	
(その他)	48,000		48,000	65,708	-17,708	給与ソフト使用料、H P : Wix 使用料等
備品購入費	55,000		55,000	184,216	-129,216	内ノートPC 2台(減価償却 120,417)
保険料	104,691		104,691	114,815	-10,124	施設賠償保険、火災保険、レクレーション保険、傷害保険
振込手数料	34,580		34,580	19,865	14,715	振込手数料(給与振込・他)
リース料	79,200		79,200	79,068	132	A E D リース料
手数料						
その他事務費	228,144		228,144	103,918	124,226	H P メンテ料、外付け記録媒体
自主事業費	230,940		230,940	542,729	-311,789	催し関連: 保険料・消耗品・講師料等(内 159,216は有料催し)ほか謝礼金・交通費、諸費等
管理費	734,855		734,855	1,741,806	-1,006,951	
光熱水費合計	※横浜市負担					
光熱水費(電気)	※横浜市負担					
光熱水費(ガス)	※横浜市負担					
光熱水費(水道)	※横浜市負担					
光熱水費(下水道)	※横浜市負担					
清掃費	282,600		282,600	217,490	65,110	内トイレ関連委託分(清掃&鍵閉鎖) 182,850
修繕費	150,000		150,000	96,513	53,487	
機械警備費						
公園及び公園施設設備保全費	302,255		302,255	1,427,803	-1,125,548	
施設(建物)・設備保守						
園地管理費	210,000		210,000	732,278	-522,278	(内 552,100木の伐採)
その他保全費	92,255		92,255	695,525	-603,270	(内 552,100)

						木の伐採)
公租公課	998,586		998,586	503,173	495,413	
公租公課（事業所税）						
公租公課（消費税）	998,586		998,586	503,173	495,413	
その他公租公課						
事務経費（本部分）						
雑費						
支出合計（b）	10,485,046	89,000	10,574,046	11,616,085	-1,042,039	
差引（a - b）	0		0	1,794	-1794	

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）	51,000		51,000	43,698	7,302	
設置管理許可支出合計（d）	2,860		2,860	0	2,860	
差引（c - d）	48,140		48,140	43,698	4,442	

今年度の収支報告

*園地管理費及びその他保全費は、地域の造園会社に木の伐採発注。そのため費用が増えている。

*印刷製本費は、想定より三つ折りパンフレット配布数が多くなり、急遽発注となり増えている。

*保険料は保険会社による催し毎の下限額設定変更のため、レクレーション保険料が予算策定期より増えている。物品関連も値上げが続き、今後、こうした値上げによる収支計画への影響の増加が懸念される。

運営目標・実績報告【自己評価 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	第4四半期の指定管理業務の振り返り	自己評価	反省点及び今後の展開
業務運営 1 (事業計画書様式2:運営業務の実施計画・取組)	・植物調査の実施 14回 ・保全作業の実施 21回 ・施設の全体総点検の実施 2回	・植物調査は実施しなかったが、適宜日々の巡視において貴重種等の確認は実施。危険木調査(業者対応)2回実施。 ・保全作業7回実施のほか毎週2回以上、草刈りを実施。 ・施設の日常安全点検を週2回のほか、適宜実施。	◎	来年度も夏季は熱中症警戒の為、保全実施回数を減少させ、冬季に臨時保全作業日を設けることを検討している。
業務運営 2 (事業計画書様式2:管理運営体制、人員の配置と研修計画)	・個人情報保護研修 1回(事務局・支援スタッフ) ・事故災害対策研修 3回(同) ・AED講習 1回(同) ・チエンゾー講習会 1回 ・人権尊重講習 1回(同) ・救急救命講習 1回(同) ・労務関連講習 1回(同)	事務局長不在であるが、事務局員4人と支援スタッフによる事務局運営体制の模索を継続し、現状相互の連絡・情報共有を大事にし業務にあたっている。しかし12月のニュースレター送信時、一部の会員、協力者宛にBCCではない送信をしてしまい、一部の個人のメールアドレスが漏洩してしまう事故を発生させた。	○	引き続き、危機管理を大事に、円滑に運営できる体制維持を心掛ける。又、今回の事故に鑑み、今後多人数メール等を一斉送信する場合は、グループメール方式等を用い、アドレスが開示されない方式を採用し進めていくとした。一方で、事務局長の専任もほぼ目処がたった。
業務運営 3 (事業計画書様式3:利用者サービスの向上・利用促進策)	・23年度の利用者アンケートを集計し、意見・要望を分類し、多数意見や重要な指摘等を検討します。理事会・総会で報告し、必要に応じて対応をします。施設を評価する意見が有れば、その状態を維持できるように努めます。 ・質問や意見への応答は、アンケート台設置、詰所前掲示します。 ・来園者からの問合せや質問には丁寧に応えます。 ・年齢の若いスタッフを含め、各スタッフの意見を尊重し、様々な世代に利用していただける施設をめざします。	・日々園内を巡視しながら、多くの来園者に目につきやすい開花した花や、木の実を付けている植物については、優先的に名札を付け、来園者が判り易く観察ができるよう心がけた。但し植物自体が枯れた冬季には一部を除いて一旦撤去し、3月より開花や芽生えに合わせて再設置を適宜実施。 ・来園者から見頃の植物等を聞かれた場合等において、開花状況や見る事ができる場所の案内を適宜行った。	◎	自然を適度に残し管理していることを評価する声を多くいたしている。特に「心が安らぐ場所」とのお声もしばしば頂いており、今後も期待に応えられる体制の維持を心がける。
業務運営 4 (事業計画書様式3:広報・プロモーションの取組)	・イベント開催後は毎回ブログを更新する。 ・ホームページに使用する写真は年に4回程度変更する。 ・「せいたいえんだより」を年2回、近隣施設に配布する。	・イベント後のブログ更新を実施した。 ・HPのホーム写真は1回更新した。	○	現状、園内では旬の開花植物の案内が掲示物では案内できていない。スポット観察会等利用し、今後も告知する方法を模索する。

業務運営 5 (様式 3 : 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の保全作業は、1回あたりボランティア8人以上の参加をめざします。また、子どもも定常に2人程参加してもらうことをめざします。 ・ボランティアへの参加を促すチラシ、SNSなど工夫します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全作業では貴重な植物が多く、ササ刈り等で日を入れることにより芽吹きを期待できる、西山園路周辺の保全作業を中心進め、更に東山の園路沿いも保全作業を進めた。 	◎	今後の保全参加者や当園のサポーターを慰労するイベントの開催を3月に実施したが、更に多くのボランティアの参加を促すために、年度明けに今年度に複数回参加下さった方達に再度お声掛けをする計画。
業務運営 6 (様式 3 : 市の施策への協力)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への優先発注100%をめざします。 ・限られた資源を有効に使い、プラスチック汚染抑制に貢献できるように、新たなプラスチック製品の購入をなるべく抑制します。 ・ゴミ削減を図り、事業系ゴミの回収分別を厳守します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・從来園内の設備等に使用していた廃材の再利用、保全作業で出た伐採木・竹を園内の柵や標識等に利用するなどして、できるだけゴミの排出削減に努めている。ゴミの排出時には、規定通りの分別を行い、地元の中小企業で産業廃棄物回収の許可を有している業者に委託している。又、受託しているトイレ清掃業務の一部を地元の中小企業に再委託している。 	◎	間伐材やイネの藁は現在、非常に有効に再利用できている。この状態を維持していくが、一部は高齢のスタッフに負っている部分があり、その技術ができる限り早期に、若手スタッフに伝承していきたい。1名従来の支援スタッフより若いスタッフが確保できたため、技術継承を進めしていく計画。
業務運営 7 (様式 4 : 文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・保全作業（年21回）や草刈り作業（年11回）、その他スタッフが日常的に行う管理作業により、生物多様性や生態系を意識した自然再生に取り組みます。 ・樹林、草地、田圃、水辺等が織りなす里山景観を大事に維持します。 ・自然への働きかけが見える施設運営を目指します。 ・管理上の心がけと取組について、来園者にわかりやすい掲示を4箇所程度設置し、保全作業への新規参加者増加を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業においては、常に生物多様性を損なわない方法で実施した。（刈らない貴重種を予め明示する、生物生息地を残す、刈り過ぎない等） ・新たに、保全作業への参加を誘うためのチラシを作成し広報した。 ・地域のボランティア協会等からの参加協力者を積極的に受け入れた。 	◎	前期の西山園路周辺の低木伐採に続き、東山園路脇の保全活動も進めた。3月後半には保全完了箇所から貴重な植物の芽吹きも確認でき、今後更にどのように展開していくか検討していく。
業務運営 8 (様式 4 : 施設（建物等）、設備の維持管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の巡回点検では、ベンチ・机・手すり等を目視と手で触れ、破損劣化を確認します。また年に2回、建物・橋等の基礎部分の劣化・腐食等の有無を重点的に確認・点検します。木材は、土壤・池の生物への影響を抑えるために、防腐処理を施さない物の使用に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常巡回を丁寧に行った。 ・詰所の各設備・備品に不具合が発生してきており、トイレの水洗機能にも不具合が多発してきている。都度横浜市に報告を入れ、取り換え、修繕等の依頼を出している（蛍光灯、水洗トイレ）。詰所の鍵のみは、当方で取替えを実施。 	◎	日常巡回を怠らずに継続したい。又、詰所の建屋関連の及びトイレの不具合については、年度明けになるが、横浜市の方でまずは業者による設備の確認を下さる旨の連絡を受けている。

<p>業務運営9</p> <p>(様式4：樹木、植栽等の管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の保全作業実施前に作業場所の下見、保護植物の囲い、優先的に伐る木の選定等を行います。 ・大径木や高木の伐採・枯枝処理は秋、冬に横浜市に依頼します。その他危険とみなされる折枝等を発見した場合は随時、市に報告し業者による対応を依頼します。 ・管理作業が、生息生物に過度な負担とならないよう配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の危険木を調査し、横浜市に報告の上、横浜市の担当者と状況を確認。その上で来園者等に危険を及ぼすと考えられる樹木を優先的に選定し、12月に横浜市から委託された業者により、伐採の優先順位が高い樹木は伐採された。 ・保全作業実施前には下見を行い、植物保護、伐採木選定を行った。 	<p>◎</p>	<p>園内の樹木は寿命、或いは周辺の環境の影響等で枯れかけている樹木が未だ多く見られる。今後も日々の巡視等で注意深く危険木のチェック等を行っていく。</p>
<p>業務運営10</p> <p>(様式4：巡視・清掃)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレおよび周辺をこまめに清掃し、汚れが見られた場合は適宜、清掃を行います。 ・園路は開園日を含め週3回以上、巡視と落枝・ゴミ等除去を行います。橋やデッキの上は落葉の季節には掃き掃除を適宜行います。 ・詰所及び正門周辺を開園日のほか随時、清掃します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ業者にも協力を依頼しながら、清潔であるように清掃に努め、業者の実施日には、キッチリ作業が実施されたかも確認している。 ・園路、緑道の清掃を適宜実施した。特に3月後半頃から花柄屑が多量に発生するため、トイレ周辺及びトイレへの通路付近の清掃は周辺道路も含め小まめに実施した。 	<p>◎</p>	<p>トイレの流下機能の不具合は1月に一度発生したパイプ詰まりを応急で処置頂いた後は、一旦好転したが、現状再び不具合は引き続き発生している状況。(4月に横浜市の方で業者さんに点検頂く予定)</p>
<p>収支</p> <p>(様式7：収入確保、経費節減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとに執行状況を見直します。・半期経過後に後半見込みをたて、状況にあつた会計を行います。・会計に関する内部規範を適宜見直します。・保全管理作業によって算出された木材や薪・枝・わら・竹や、タケノコ・シイタケ等については来園者に提供し協力金をいただきます。「ようこそ生態園へ」(植物ガイドブック)や「いきものたち」等の冊子を颁布します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期後に、人件費執行状況等を確認した。その後も事務局スタッフには、月1回開催の事務局会議の場で、会計担当者から逐次予算の執行状況の報告が為されている。 ・タケノコ、山椒を地域の方に提供し寄付をいただいた。シイタケはナラ枯れの影響か、育成が順調ではなく、寄付金は伸び悩んだ。 ・冊子颁布を続けた。 	<p>◎</p>	<p>引き続き、会計執行状況を確認していく予定。 収入確保のため、作業に伴って算出される自然物を主体に、需要の見込めるものを模索していきたい。又、各イベントについても、持ち出しにならぬよう、積極的に有効なPRに勤め、参加者を確保していく。スポット観察会についても、寄付をお願いする事も検討する。</p>